

「家がいいね」 第238号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2024. 3. 2



今年は何(う)る(う)年。2月が29日まで、短い月ながら、第五木曜日でした。休診日は、それなりに時間の自由度があり、雨予報に先駆けて、北勢いなべまで足を延ばしました。冷たい陽気が山にも梅林にも心地良いようでした。暖冬のため、南の河津桜は急がされもう散り始めていました。

あの世とこの世の間に、その世がある

「お迎えは何時来るのか」と問われるたびに、複数の考えが頭を横切ります。

まだ、この世で忙しい頭の方は、こうは問いません。誰しも経験の無いあの世を思うのは余裕の有る無しで随分違います。飲み食いのできる方は、迎える時期が予測ができないことを話題にしないと間が持たないと思われるのでしょうか。

体の衰弱が進み、苦痛もある方には切迫を和らげる方策を考えます。心も痛むのには、時を待てません。どちらの方も生きて来た道を、個人として聴き取り、お互い気持ちが届いた時に「その世」が開くようです。朝陽の昇る時もその世です。

これは、「この世」。日々は始まり、新たなのでございます。



大海を泳ぐように

金児医師が着任し1年。当初からの予定通り、津市城山で開業されるので3月末で、当院を退職されます。生れ育った津市で実践を深められる門出も間近です。家族とも伊勢に在住ですので、当院とのご縁は続き、

将来は在宅継承して頂けると期待しております。「いこか」と腰をあげるのは、大事なタイミング。私も後になり、あの時行って良かったと胸を撫で下ろす往診を、幾つも経験したなと思ひ出します。

いせ在宅医療クリニックは、引き続き、大久保と遠藤が二人で担当しますので、宜しく願います。



子どもが、親にしてあげるといふこと

普通考ええるのは、親が子にできることですが、逆に親と言う立場は子に依って育てられるのではないかと



列挙します。
・順に人の原型をみせてあげる
・人生は個人的、と気付かせる
・感動する時間を思い出させる
・自然な微笑みも思い出させる
誠に、ありがたや、ありがたや。
世界どこの子も、この世の宝なのでございます。あなたも、前は子どもだったのではないですか？



自宅での人生を 最期まで支援します

〒516-0805
三重県伊勢市御園町高向 927
電話 0596-20-8104
ファクス 0596-20-8105
メール homecare@kr.tcp-ip.or.jp
<https://isezaitaku.com>



→バックナンバー閲覧可

